

平成23年2月14日

新潟県知事

泉田 裕彦 様

佐渡汽船「おおさど丸」の  
代替船建造に関する要望

自由民主党新潟県支部連合会

幹事長	長 津 光三郎
総務会長	中 野 洸
政務調査会長	柄 沢 正 三

佐渡航路は、佐渡島民の足として島民の生活や島内産業を支えるとともに、県内の主要な観光地である佐渡観光にとっても欠かすことのできない重要な航路であります。

また、同航路は海上国道上（国道 350 号）にあることから航路とそこに就航する船舶は、道路と同様に重要な交通インフラであり安定的な継続が必要不可欠です。

現在、新潟一両津航路に就航しているカーフェリー「おおさど丸」は、昭和 63 年の建造から 23 年が経過し、更新時期を迎えております。

昨年 8 月には、お盆の繁忙期にもかかわらず、機関故障により長期間運休したため、島民生活や島内経済に大きな影響を及ぼしました。

今後、このような事態を生じさせないためにも、代替船の建造が急務となっております。

「おおさど丸」の代替船建造は、島民の安全と安心の確保の観点と、併せて佐渡観光の発展等にも寄与することから、佐渡市では、平成 23 年からの 3 ヶ年で国の社会資本整備総合交付金を活用して、佐渡汽船による「おおさど丸」代替船建造の支援を計画しているところです。

貴職におかれましては、代替船の建造に必要な交付金が国から配分されるよう、ご尽力いただきたくお願い申し上げます。